

正の心算及改正調査委員会設置については労働団体代表者も任命すべき事を陳情したり

### 6 國際労働機關に対する態度決定

滿州問題を契機として我國が國際聯盟を脱退する事しかしながら國際労働機關には残留する事を我國政府が決意するや我國社会の一部に國際聯盟の脱退と同時に國際労働機關をも脱退すべしとの議論が盛んに唱へらるゝに至りしを以て組合会議も國際労働機關に対する態度を決定する事を心算とせるも当時尙正式に我國が國際聯盟の脱退と通告するまでに致らざる事組合会議及長の不任等の理由によりこの問題に対する組合会議の態度を決定するには組合会議政治委員会に於てこれを爲す事が妥当であり又充分なりとの見地より組合会議政治委員会、渡辺、菊川、高山、皆川、山川、新壽の各委員は二月廿五日東京日本労働總同盟本部に参公この問題を熟議したる結果滿場一致にて

### 決 議

聯盟脱退は我國に大なる不利を齎らすものであると信ずる。更に國際労働機關より脱退するが如き事あらしか労働階級に一大失望を與へ引いては思想の悪化を助長し我國産業の上に甚大なる損失を招来するものなりと確信する仍って我等は閣下、深甚なる御考慮を要請するものであります

昭和六年二月廿五日 日本労働組合会議政治委員会

乍る決議を採択しこれを同日首相、内相、外相に面接手交した  
尚書記局はこの決議を採択する迄に到れる組合会議の立場を説明する長文の報告的声明書を二月廿七日附にて加盟団体及社会一般に発表す

### 丁 組合会議時報第二号

石時報第二号千部を二月十三日附にて印刷発行し加盟団体及社会一般に配布せり

### 田 第四回執行委員会